



<会報 第86号>

事務局：(公財)奈良県緑化推進協会内
〒634-0033 橿原市城殿町459
TEL 0744-26-0200
FAX 0744-26-0201
メールアドレス：gvnc@nifty.com
ホームページ：
<http://gvnc.eco.cocacn.jp>

◇令和4年の活動開始

令和3年も前年に続きコロナに明け暮れた年でしたが、何とか東京オリパラも終わり、秋にデルタ株も下火になって少し落ち着いた年越しになりました。

新たな年に入り、オミクロンという新しい大敵も現れましたが、こんなものには負けてはいられません。今年こそは、自由な日常を取り戻し、活気あふれる一年にしたいものです。

1. 定例活動 - 活動始め- ■1月8日土曜日(第603回)

令和4年の活動始めは1月8日(土)、明るい晴れの好天です。新入会員1人、体験参加1人を含む18名の参加で開始。仲間をどんどん増やしたいですね。

この日のメイン活動は、緑の募金公募事業「もみじ谷の林内整備」です。枯損木処理で2班、溪谷の整備1班の計3班構成で現地へ移動。枯損木伐採前に山に向かって一年の安全を祈願した後、ナラ枯れを中心に伐採と整理を開始。溪谷の整備では、下流に向けて沢に横たわる枯木や枝を除去。細流ながら小滝やナメなど現れ良い谷になってきました。

昼前に作業も一段落。帰路、昨秋に設置した看板を補強し、全員で記念撮影して昼休憩。



新たな仲間



丁寧な指導で伐採へチャレンジ



倒木除去で滝が出現



全員で祈念撮影



午後は子ども交流館横の竹づくりの土留めフェンスが老朽化し、土砂の崩落の危険もあるため、新たに作り直すことになりました。

竹林の整備を兼ねて間伐を行いそれを活用。竹を運搬する班と古い土留めを撤去する班に分かれて作業開始。

写真のように手際よく頑丈に新設できて、これから約3年は大丈夫。

合わせてそのすぐ上部の横断幕用のポール補強なども行って、無事活動始めは終了しました。

2. 自主活動 ■1月19日水曜日

林野庁助成事業「矢田山三角点から頂上展望台までの沿線整備」は、肌寒く雪の舞う中、6人が参加。

この日は、まほろば展望休憩所下斜面の枯損木伐採とその処理を中心に活動しました。

遊歩道すぐ上の斜面ということで、それを避けるため伐倒方向は限られます。ビシャコの多い斜面にナラ枯れや細い桧が点在し、ハイカーの安全を確保しながら、かかり木に苦労しつつも2桁近い枯損木処理ができました。



朝は好天も徐々に雪模様



遊歩道(管理道)のすぐ上で作業

3. 定例活動 ■1月22日土曜日(第604回)

1月22日の土曜日はどんよりとした曇りのやや肌寒い感じ。体験参加1名を含め15名が定例活動に参加。この日は、みんなの森下部の笹刈り・草刈りと、これまで伐採済みのナラ枯れなどを玉切りして収集し、子供の森の薪に活用することの二つをメインとして取り組みました。

この時期草はあまり成長していないものの、急斜面にはびこる笹を刈払機と鎌による手刈りで刈り取っていきます。ただし、みんなの森は広く、皆でかかっても目に見える進捗は上がりません。それでも何とか下部の管理道から幅50mくらいを刈り上げ一応の成果をみました。谷底や上部の笹は更に高く深いので、先が思いやられます。

ナラ枯れの伐採木は、太いため玉切りや運搬に苦労しました。特に管理道まで転がして落とす際、速度が上り停止させるのに苦心。枯損木とはいえ、コナラを単に朽木として腐らせるのではなく、薪で活用してやりたいとの思いで作業を進めました。



かないの急斜面です

体験参加の方も刈払機で活躍



管理道まで回収するのも大変です

4. 自主活動・チェーンソー講習会 ■2月6日日曜日

2月6日は午前中8名が参加し、「矢田山三角点から頂上展望台までの沿線整備」の自主活動。

まほろば展望休憩所近くの管理道横のナラ枯れ枯損木処理と桧の間伐をロープワークやプラロック活用等で、かかり木防止に努め、チームワークよく進め、3月末のⅡ期分完了に向けてラストパートをかけた。



自主活動には8人参加



ナラ枯れ枯損木を伐採

午後には更に参加会員が増え、経験深いエキスパートの清原さんによるチェーンソー操作と安全かつ実践的な伐倒技術のスキル習得に向けて講習会を開催。

基礎からの技術習得へ「受け口」「追い口」「ツルの残し方」からその先へ続く技術まで、参加者のステップアップとなったと思います。



チェーンソー講習会です。10人以上が参加し実践的スキルアップ

5. 定例活動 ■2月12日土曜日(第605回)



2月第二土曜日は明るい晴れの好天の下、16人の参加で開始。先月の1人に続き今月も1人に入会いただきました。昨年は高齢による退会等があり寂しい限りでしたが、最近野外活動が注目されている模様で、それに伴って新会員が増えるのはうれしいことです。

この日のメイン活動は、緑の募金公募事業「もみじ谷の林内整備」です。今期の残り期間が少なく追い込みに入り、この日は枯損木処理班と渓谷の整備班の2班に別れ、ほぼ目標通りの活動結果となりました。

また、別に月末の「こんにやく手作り」イベントに向けたチームも準備が完了し、その日を迎えるのが楽しみとなりました。



6. 自主活動 ■2月16日水曜日

少し春を感じさせる晴天の下、8人が参集。
 この日は林野庁が支援する事業の「矢田山三角点から頂上展望台手前までの沿線整備」の2日目。
 今期のまとめとして、やり残り部分や最奥部分のナラ枯れ枯損木処理・松人工林の間伐に取り組みました。
 かなり太いコナラの枯木には苦勞しましたが、間伐や太いツル性の木(?)なども処理して、予定通り活動を完了。



自主活動には8人参加



太く二又のナラ枯れ伐採

7. 定例活動 ■2月26日土曜日(第606回)

この日は、「こんにやく手作り」のイベントと定例活動を平行に行う日。会員16名と一般参加2名でスタート。
 定例活動は、みんなの森入口の危険なナラ枯れ枯損木除去と、みんなの森上部の育苗地の草/笹刈りの2班で開始。
 ナラ枯れ枯損木は管理道横の太木などを道と反対方向に無事伐倒。ナラ枯れの芯は硬く、かつ倒れにくく危険なので慎重に伐採。
 上部育苗地は笹がびこっていて、活用には定期的刈るの必要がありそう。その上・下部分も笹がひどい。なんとかしたい・・・



みんなの森上部の育苗地



笹のはびこる速さはすごい



みんなの森入口のナラ枯れ



表面ボロボロでも内部は強い



8. 「こんにやくを手作り」イベント ■2月26日土曜日



こんにやく作り職人のみなさん

◇ことしも蒟蒻芋からこんにやくを手作り
 会員から提供してもらった蒟蒻芋から、できるだけ昔の手作り技法を使って、こんにやくを手作り。
 一般参加の2人を加えて、この日朝から料理体験館で奮闘しました。
 結果、昨年と同じく(以上!)の出来栄え。
 昼飯時、午前中肉体力労働の会員も試食に参加して舌鼓。ほんまにうまいわの声しきりでした。



作りたて 案にうまい



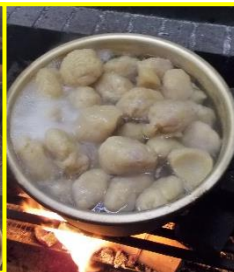
こんにやく芋をむいて切って、



茹でてミキサーにかけて、



焼いた貝殻の粉と混ぜて、丸めて、



火にかけて完成

9. 自主活動 ■3月6日日曜日



この日の自主活動も林野庁助成事業「矢田山三角点から頂上展望台への沿線整備」最後の間伐等伐採作業です。
 天気の良い日曜日でもあり久々の2桁の参加者。
 新会員の2人を加えて、実践的にチェーンソーの操作や正確かつ安全な伐採へのOJTもかなり成果あった模様です。
 かり木になりそうな場所でもあり、ベテランから会員へのアドバイスなども充実し、今期最後の伐採作業を事故なく無事に完了できました。

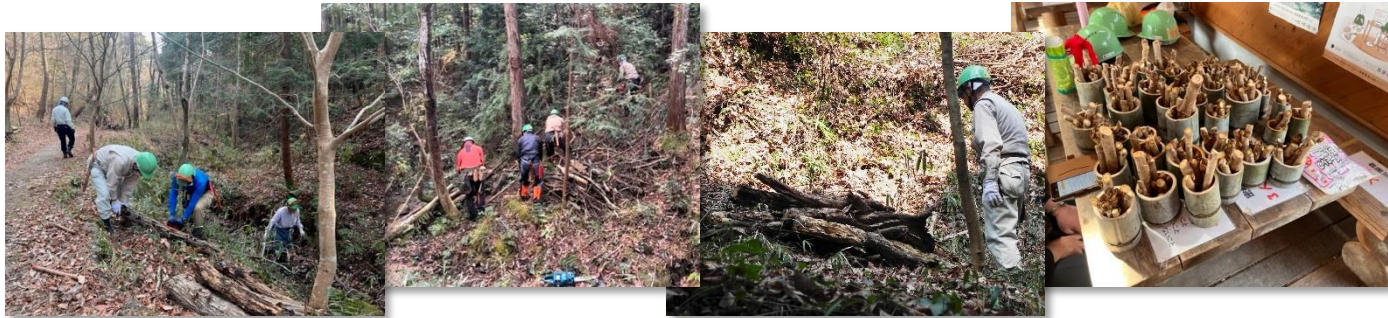
10. 定例活動 ■3月12日土曜日(第607回)

久々に19人も参加(17人の会員と2人の体験参加)となりました。

この日は緑の募金事業活動、もみじ谷の整備活動。新人2名を迎えての活動となり、活動の概要、緑の募金のしくみ、現地の状況などを紹介しながらも、チェーンソーの体験など体も動かして活動に参加してもらいました。整備もいよいよ仕上げに入り、谷筋の倒木の処理などを中心に行い、すっきりとした明るいもみじ谷に仕上がってきました。

また、もう一班は会員により提供してもらったタラの芽の水栽培セットの作成。芽のついた枝を輪切りの竹にさして水栽培です。

午後には、椎茸銀行の整備として、新たな椀木をかけるための横木と基礎を準備して、菌打ちを待つばかりとしました。



11. 自主活動 ■3月16日水曜日

3月16日(水)いよいよ林野庁助成事業の今期最終日。

7名が参加して、これまで森の中で間伐を進めてきた桧を管理道そばまで運搬して集積しました。

ウインチの操作と間伐材・ロープ・滑車の設置要領などを確認しながら、森に散在する桧を1~4本単位に移動させていきます。人力での運搬は危険が伴い、体力も相当消耗しますが、この方法だと安全で効率的、予定どおり終了しました。この間伐材は県立矢田自然公園内の修繕や整備などに活用となります。

今期の取組みで森が明るく整然としてきました。



12. 定例活動 ■3月26日土曜日(第608回)

3月最終の活動はあいにくの雨模様、その中17人が参集。

朝ミーティングの後、椎茸銀行で新たな椀木へコマ打ちと、これまで間伐した木の再利用のための運搬の2班に分かれて作業開始。

椀木への菌打ちでは、雨の中の作業となるため、作業場所にブルーシートをテント替わりに張ってスペース確保。ドリル3台をフル稼働して午前中に数十本の椀木への菌打ちを完了。間伐木の運搬も降りしきる雨に打たれながら午前中で一応完了。お疲れさんでした。

午後はクラフト作成の講義から、「ジージー蟬」などの概要と作り方、教え方を学習。

続いて、春の雨をぬって頂上展望台の桜の木の太枝が強風で折れているため、安全と桜の木の保全ため取り除きスッキリ。これから一週間でこれらの桜が展望台周辺で咲き誇ることを期待。



※ 会報へ、会員から投稿依頼について

会報の今号は、定例・自主活動の概要と写真を中心に編集しましたが、毎回同じような内容で、単調だと感じています。ぜひ会員からの投稿をお願いします。衛藤まで声掛けいただくか、URL_gvnc@nifty.com または、e7266diran1@outlook.jp まで。

■ベテランの方には、これまでの活動の紹介・・・経験談。新しい会員の知らないことなどを是非語り継いでください。他考え等何でもOKです。

■会員歴浅いor新しい会員の方は・・・自己紹介、活動の動機・感じたこと・これからしたいこと、技術紹介、なんでもOKです。

■発行人 NPO法人 森づくり奈良クラブ
奥 恵一郎

〈後記〉今号で4回目の会報編集になります。昨年亡くなられた岡本(治)さんにいろいろ教えていただき、要領は覚えましたが、実のところ会報としてはどうなのか、皆さんはどのように考えているのか?の日々です。もう少し皆さんの声が会報に反映できればと願ってやみませんので左記よろしくお願ひします。こうすればという意見でもOK。(衛藤)